

消費税増税が影響か！？ お墓建立費用、全国平均額 163.7 万円、昨年よりも 4.1 万円ダウン

一都三県では和型は 21.1%、約 75%は洋型、デザインのお墓に

全優石の「2014 年版 お墓購入者アンケート調査」結果発表

北海道から沖縄まで、全国の優良石材店約 300 社で構成する墓石業者の全国組織「一般社団法人 全国優良石材店の会」（略称・全優石、会長・吉田剛、事務局・東京都品川区）が実施した「2014 年お墓購入者アンケート調査」の最終結果がこのほどまとまった。この調査は、今年 3 月 1 日～5 月 10 日の約 70 日間に、全優石に加盟する全国の石材店で実際にお墓を購入した人を対象に、郵送法（郵便による自記式調査）で実施した。実際にお墓を購入した人に対する全国規模での調査で、有効回答数は 3,078 名。お墓購入者の実態や意識を知る上で最大規模の調査。2004 年から毎年春に実施していて、今年で 11 回目で、年次推移も把握できる。以下が調査結果の主なポイント。

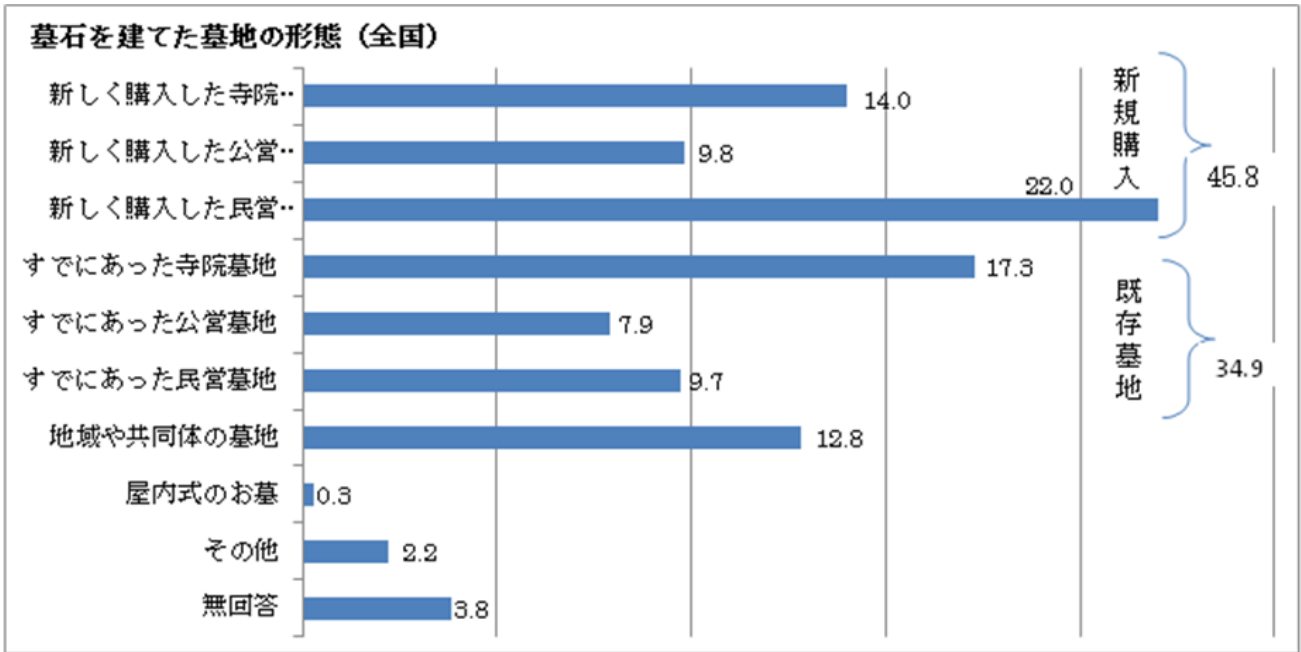
- 墓地と墓石を「同時新規購入」は全国で 45.8%、「すでにあった墓地に墓石建立」は 34.9%。地域別の傾向としては、関東ではお墓を建てた人の新規購入墓地の比率が高く 60%、1 都 3 県で 66.8%。その中でも特に「民営墓地」が関東に多く 41.5%、1 都 3 県で約半数の 49.5%にのぼる。
- 建てたお墓の形を全国でみると、「伝統的な和型」は 2010 年初めて半数を割り 49.5%、2011 年は 47.4%と減少しているが、今年のと型は昨年と同じ 41.7%。「シンプルな洋型」も昨年の 39.8%とほとんど同じ 40.5%、「デザイン墓」もほぼ同じ 12.0%という結果になった。
- 2004 年からの推移でみると「伝統的な和型」が 66.5%から 24.8%減少し 41.7%に、「シンプルな洋型」が 22.7%から 17.8%増加し 40.5%に、「デザイン墓」が 6.1%からほぼ倍増して 12.0%になった。
- 洋型の伸長は、地震被害でのお墓の倒壊が背景の一つにあると考えられる。和型に比べ倒壊のリスクがより少ない洋型を選択しようという意識が反映されている。さらに、公園墓地などでは立地に合った明るいイメージの洋型が好まれる傾向にある。デザイン墓の増加は、より自分らしいお墓、想いを込めたお墓づくり意識を反映している。今後もこの傾向は進むと予測される。
- しかし地域別にみると、北陸、近畿、中国、四国など西日本では、伝統的な和型お墓が 80%近くにのぼり、伝統的な和型への根強い支持も窺われる。
- 一都三県での和型は 21.1%、関東では 24.0%と 4～5 基に 1 基しか和型が建立されず、逆に西日本では 5 基に 4 基が和型という全く対照的な結果。和型の関西、洋型の関東というパターンがくっきりとしている。ただし西日本でも九州は例外で、洋型やデザイン墓の建立比率が高い。

- 墓石を建てた墓地の形態からみると、「新しく購入した墓地」（寺院、公営、民営含み）では、和型よりもシンプルな洋型やデザイン墓を建てた人の割合が多い。またその中でも新規民営墓地購入率が高いのが特徴。逆に既存の寺院墓地や共同体墓地（西日本に多い）では伝統的な和型を建てる傾向が根強い。
- 墓地取得費用を除いた墓石の購入金額は、100万円～200万円台が最も多く48.9%と半数近くを占める。次いで、50万円～100万円が24.4%、200万円～300万円が15.2%であった。
- お墓の平均購入価格を計算してみると、全国平均で163.7万円と昨年の167.8万円よりも4.1万円のダウン。一昨年は2004年の調査以降、過去最低の平均単価162.0万円で、昨年はアベノミクス効果もあってか若干アップ、今年は消費税増税を挟んだ調査時期ということもあってか、再びダウンし調査開始以来2番目に低い金額になったと思われる。
- 墓石タイプ別では、伝統的な和型の平均単価が最も高く172.4万円、次いでデザインのお墓で171.5万円、シンプルな洋型が最も安く152.4万円であった。石材加工が比較的容易で墓石タイプ別でも低価格のシンプルな洋型は、昨年よりも8.53万円安い結果。
- 地域別にみると、昨年よりも価格がアップしたのは北海道、北陸、近畿、中国、九州。九州は全国平均を大きく上回り平均価格は223.6万円と突出している。また、最も安いのは中部の148.5万円である。九州と中部では75.1万円の開きがある。
- 墓石選びで重視したことはという複数回答に対して、昨年と同様①石の色、②石の材質、③価格の手頃さが三大ポイントとの回答が寄せられた。石の色は従来ならば黒、白、グレイであったが、最近では洋型、デザイン墓などに赤、ピンク、緑といったカラフルな石が選ばれるようになってきている。それだけに石の色や材質にこだわるという回答のようだ。また4番目に「アフターサービス」、5番目には「耐久性」、6番目に「石のデザイン」がランクされた。
- 「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」が挙げられた。一生に一度あるかないかのお墓づくりでは、やはり実績のある専門業者、石材店が最も頼りになる情報源となっている。

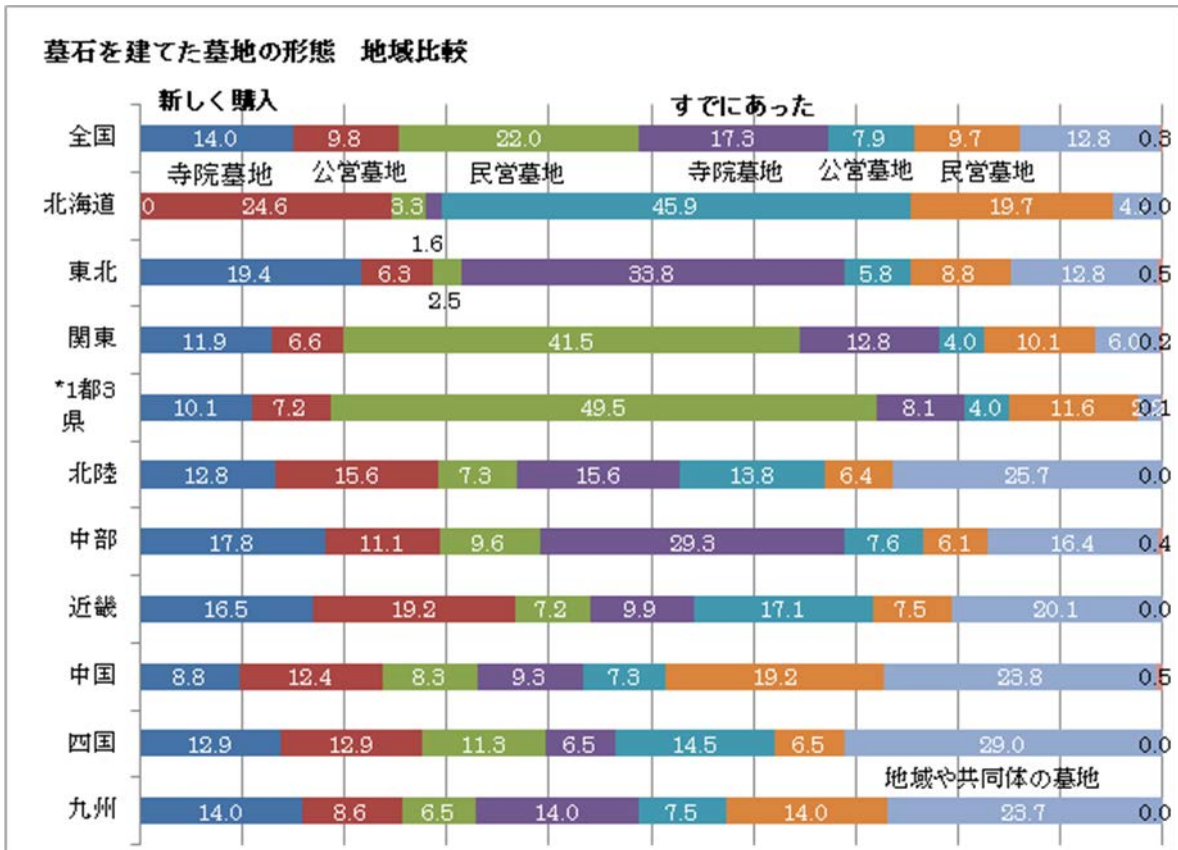
以上の件に関する取材のお問い合わせは

- 一般社団法人 全国優良石材店の会 事務局長 山崎 正子（携帯電話 090-2669-5667）
東京都品川区上大崎 3-8-5 IRビル 6階（〒141-0021） 電話 03-5423-4014 FAX 03-5423-4050
- インフォメーションセンター 佐々木 勉（携帯電話 090-4729-0545）
東京都中央区銀座 1-22-10-401（〒104-0061） 電話 03-3563-3181 FAX 03-3562-5267
E-Mail sasaki@info-ginza.com

「墓地と墓石を同時新規購入」が全国で 45.8%、「すでにあった墓地」は 34.9%



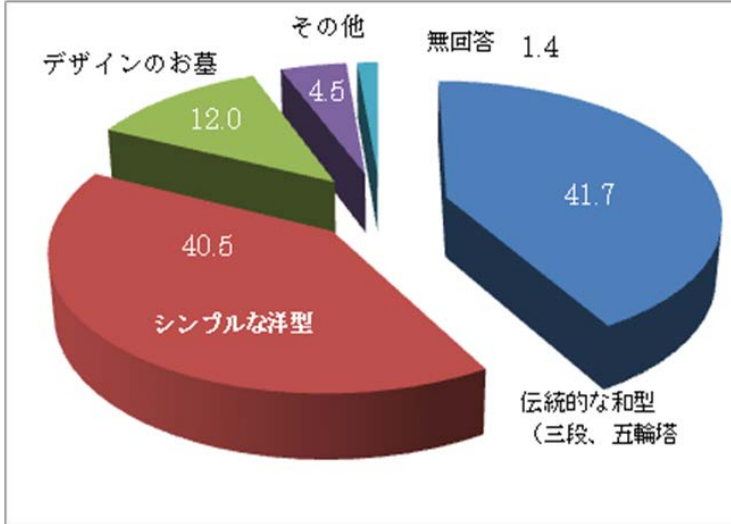
まず、最初に墓石を建てた墓地の形態からみると、「新しく購入した墓地」（寺院、公営、民営含み）が 45.8%、「すでにあった墓地」（寺院、公営、民営含み）が 34.9%、「地域や共同体の墓地」12.8%、「屋内式のお墓」0.3%であった。「すでにあった墓地」は墓地だけを事前に取得、今年新たに建立というケースや、最近増えている建替え、改葬も含まれる。



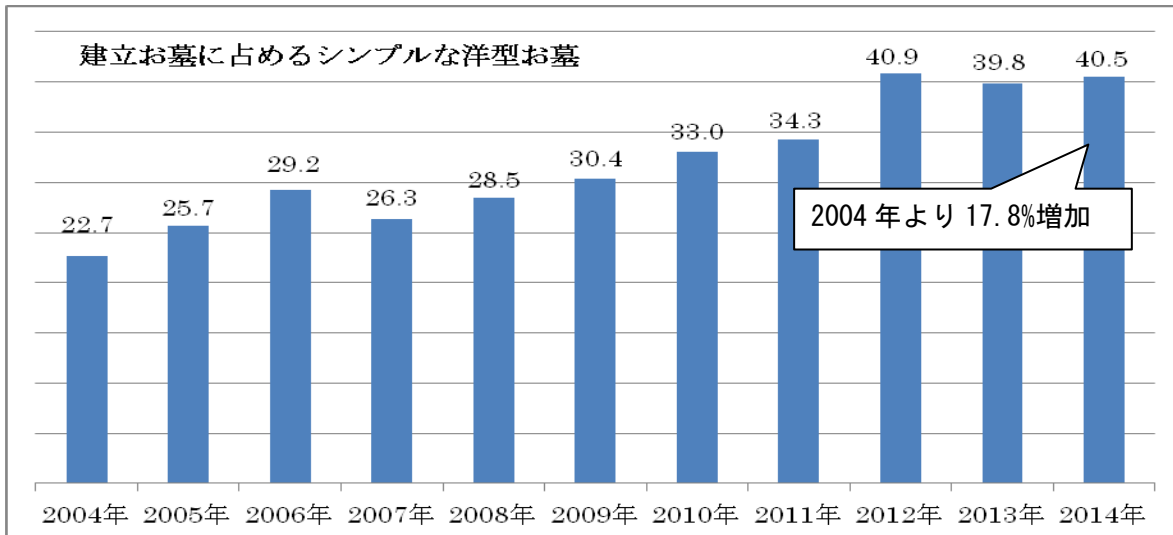
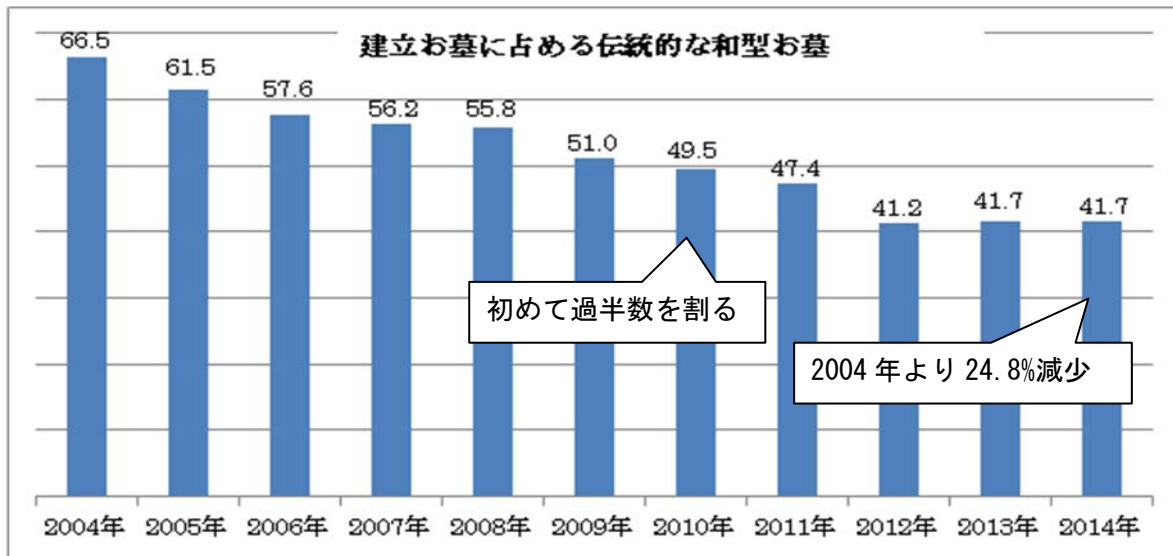
地域別の傾向としては、関東ではお墓を建てた人の新規購入墓地の比率が高く 60%、1都3県で 66.8%。その中でも特に「民営墓地」が関東に多く 41.5%、1都3県で約半数の 49.5%にのぼる。北海道では 45.9%が既存公営墓地、24.6%が新規購入公営墓地と、公営墓地比率が高い。東北、中部では、既存寺院墓地の比率が高い。地域や共同体の墓地は、四国、北陸、中国、九州など西日本

で高い比率を示している。

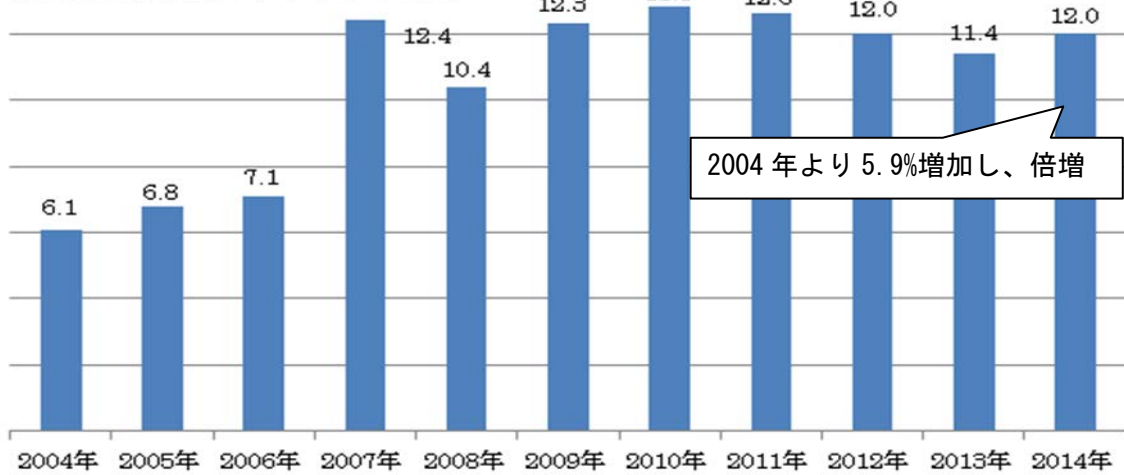
**お墓の形、全国平均で「伝統的な和型」と「洋型」が拮抗
西日本の和型志向に対し、約75%は洋型、デザインのお墓に
デザインのお墓が10年で倍の12パーセントに**



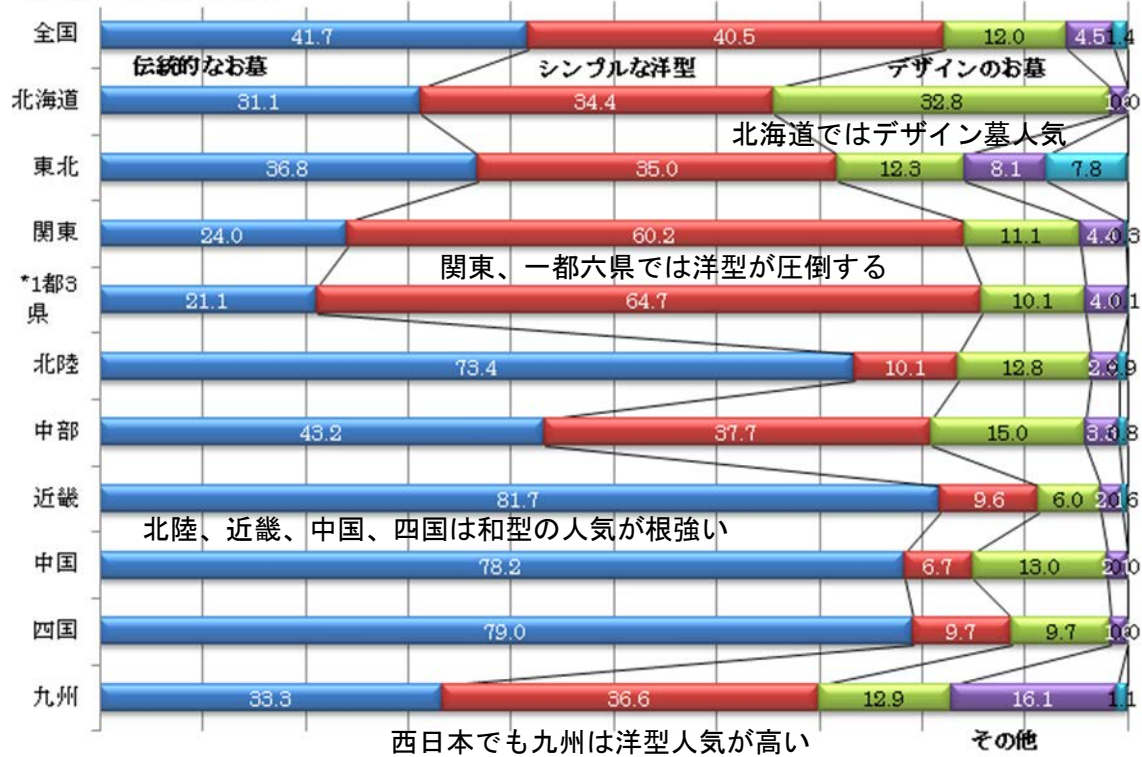
建てたお墓の形を全国でみてみると、「伝統的な和型」は2010年初めて半数を割り49.5%、2011年は47.4%と減少しているが、今年と同じ41.7%。「シンプルな洋型」も昨年の39.8%とほとんど同じ40.5%、「デザイン墓」もほぼ同じ12.0%という結果。2004年からの推移でみると「伝統的な和型」が66.5%から24.8%減少し41.7%に、「シンプルな洋型」が22.7%から17.8%増加し40.5%に、「デザイン墓」が6.1%からほぼ倍増して12.0%になった。



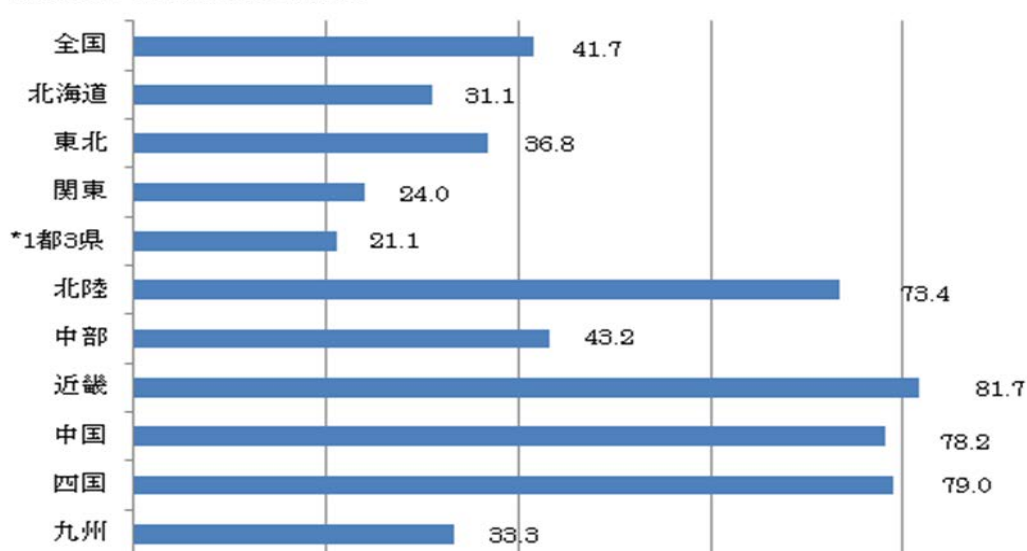
建立お墓に占めるデザインのお墓



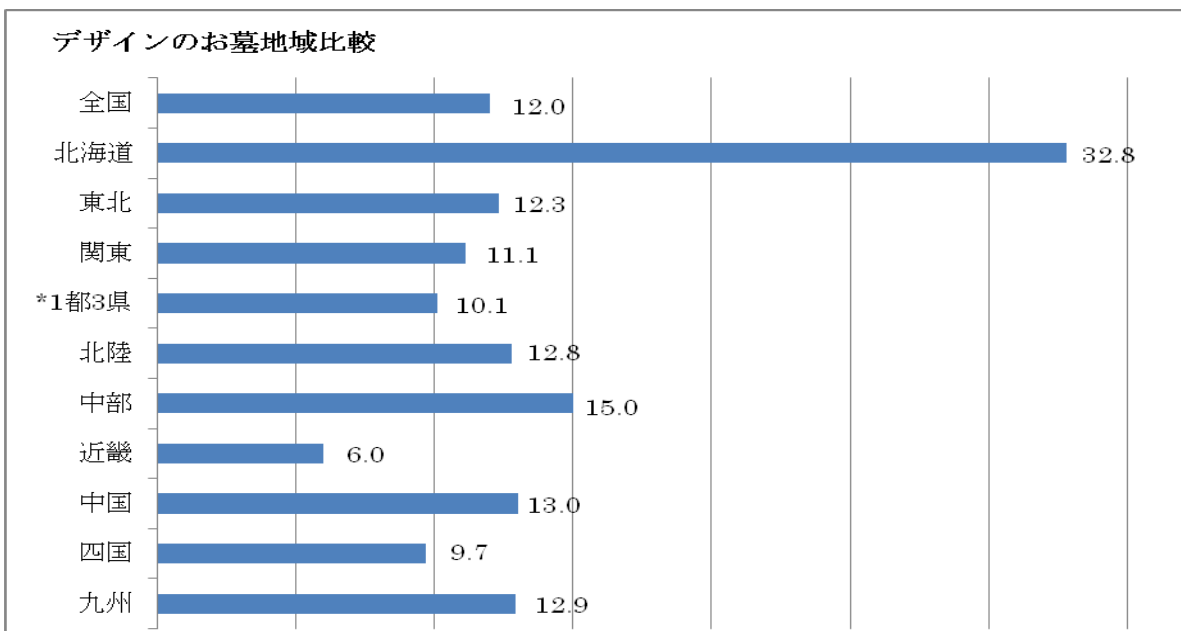
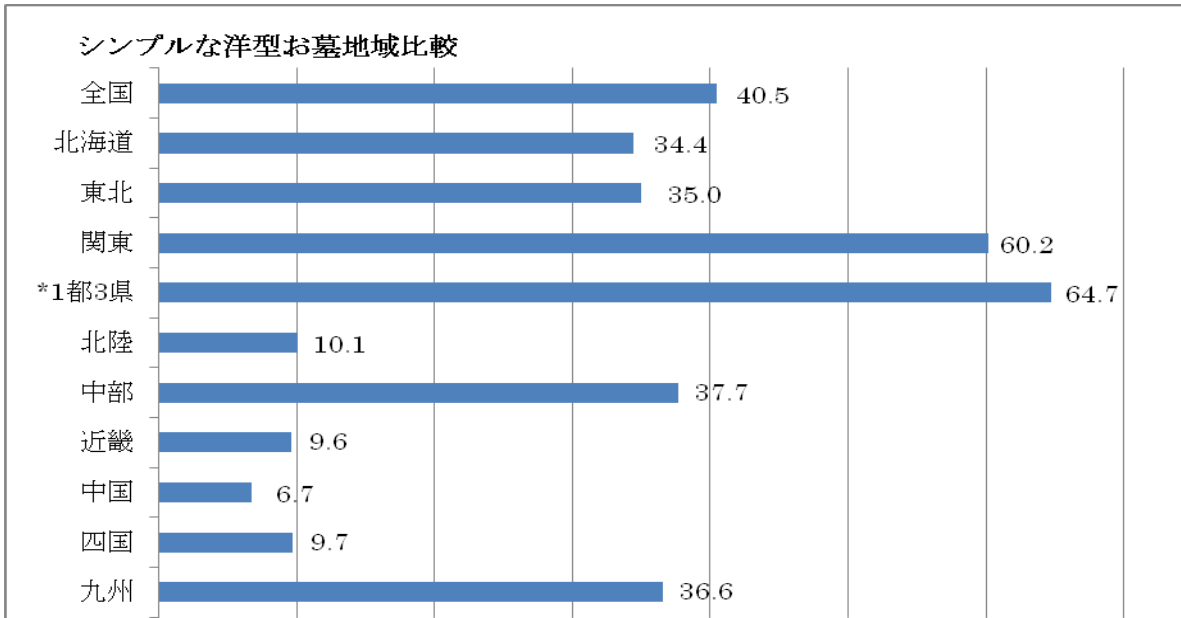
建てたお墓の地域比較



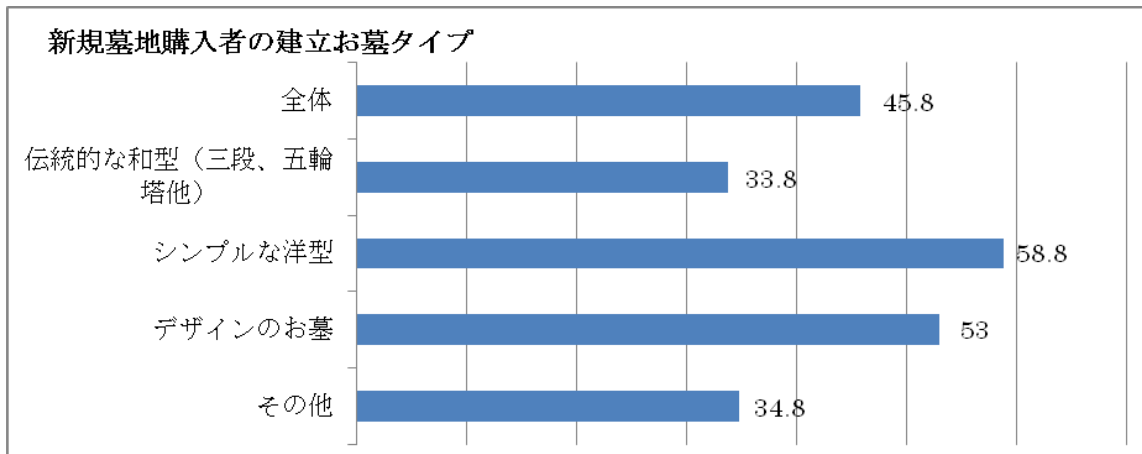
伝統的な和型お墓地域比較



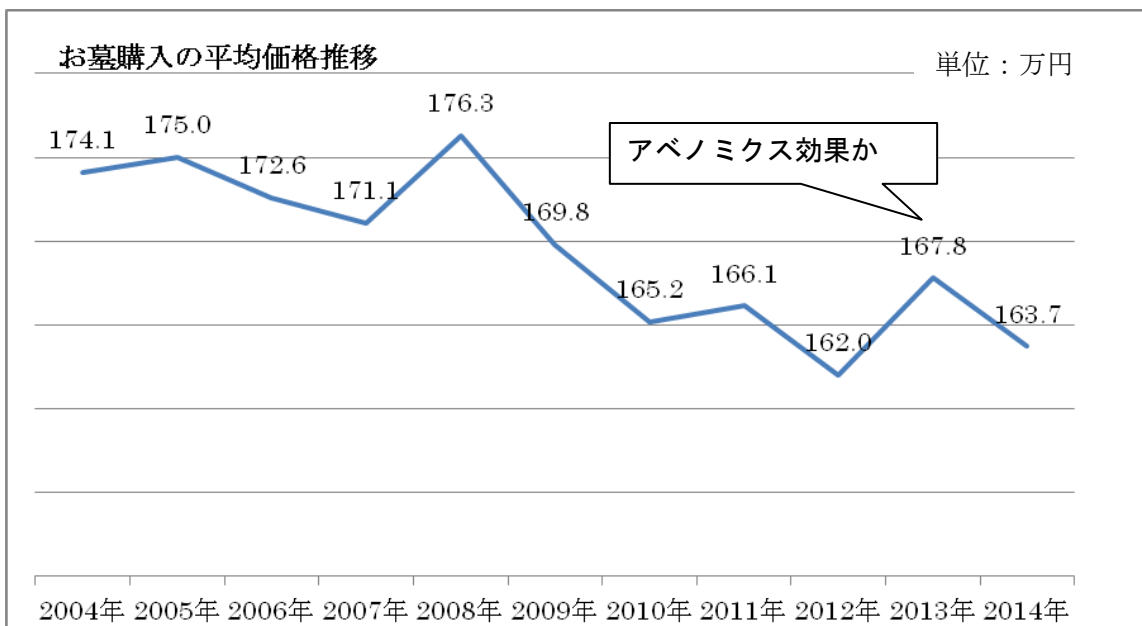
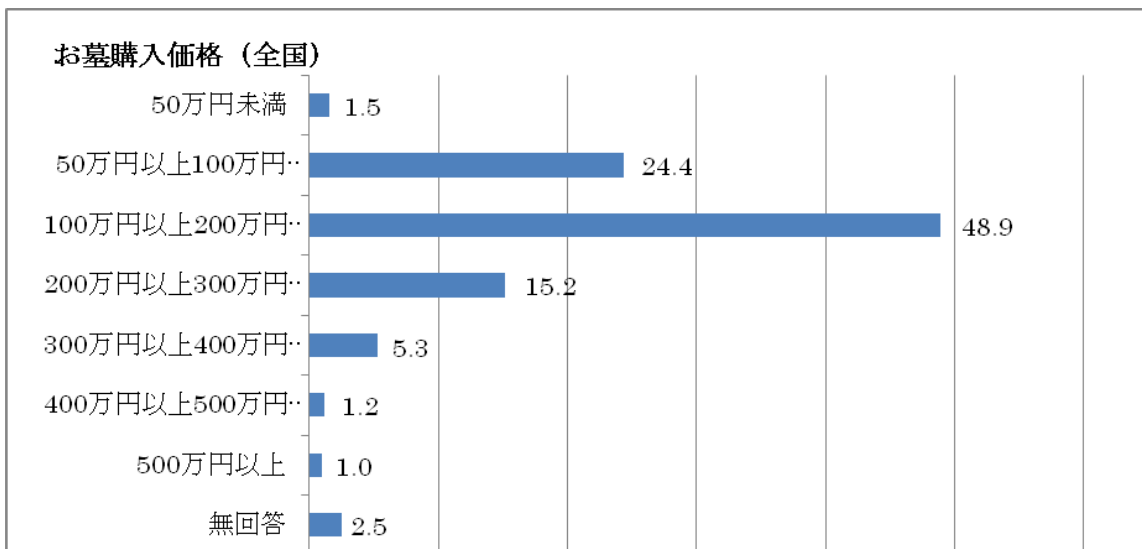
地域別にみても、新規建立お墓に占める伝統的な和型お墓の比率が高いのは、北陸、近畿、中国、四国などで、逆に低いのは一都三県、関東になる。一都三県では5基に1基しか和型が建立されず、逆に西日本では5基に4基近くが和型という結果。和型の関西、洋型の関東という色分けがより鮮明になっている。ただし西日本でも九州は例外で、洋型、デザイン墓の建立比率が高い。また、デザインのお墓では北海道が他の地域に比べて建立比率が2倍以上高く32.8%となっている。



墓石を建てた墓地の形態からみると、「新しく購入した墓地」（寺院、公営、民営含み）では、シンプルな洋型やデザイン墓を建てた人が多い。逆に既存の寺院墓地や共同体墓地には伝統的な和型を建てる傾向が強い。



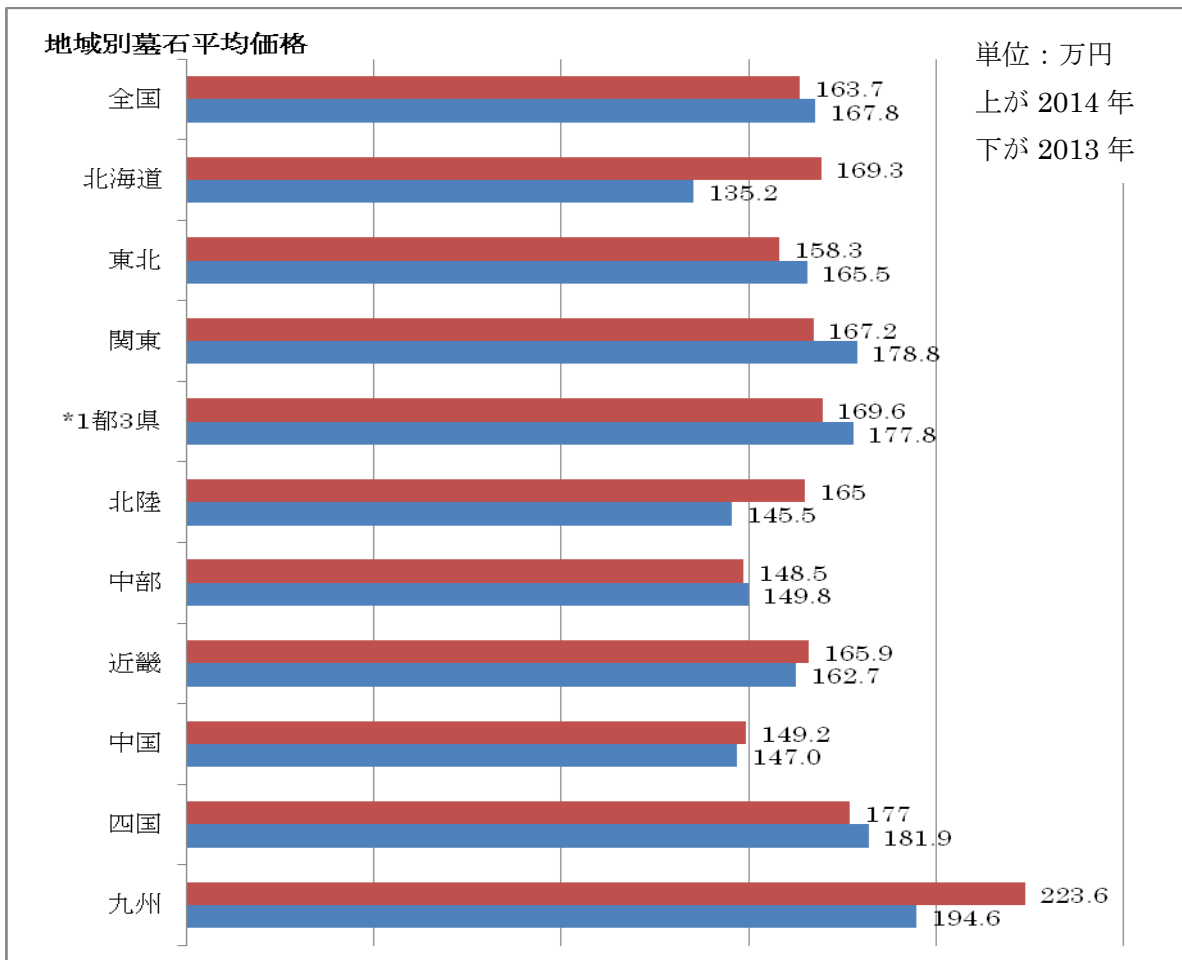
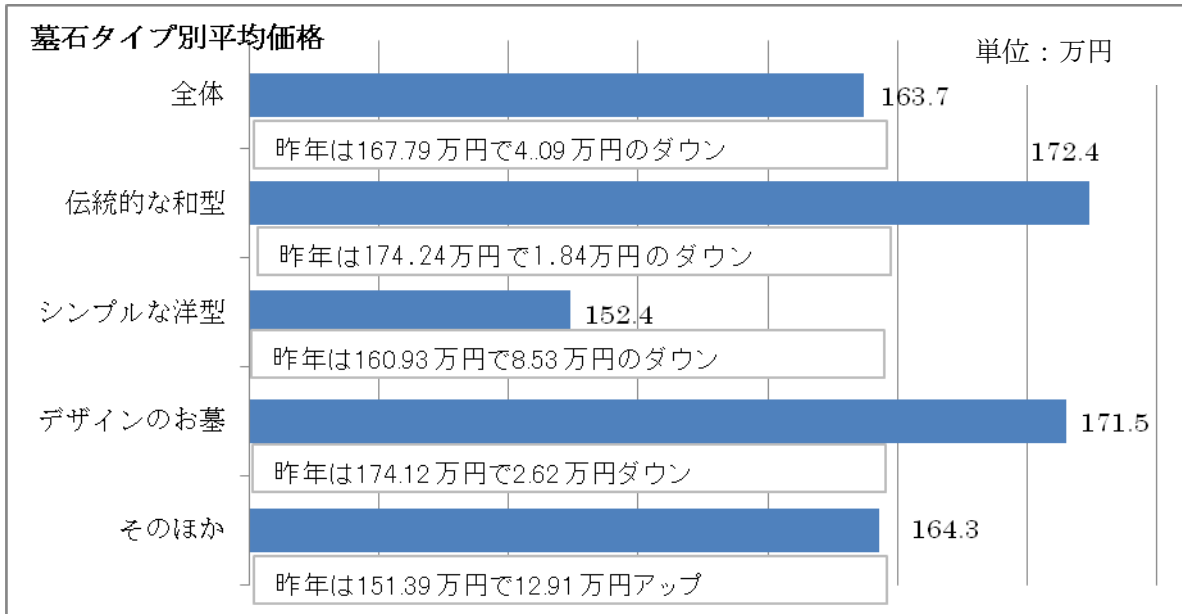
**お墓の全国平均価格、昨年の 167.8 万円よりも 4.1 万円安い 163.7 万円
九州は全国平均を大きく上回り 223.6 万円と突出、最も安いのは中部の 148.5 万円**



墓地取得費用を除いた墓石の購入金額では、100万円～200万円台が最も多く48.9%と半数近くを占める。次いで、50万円～100万円が24.4%、200万円～300万円が15.2%であった。

次にお墓の平均購入価格を計算してみると、全国平均で163.7と昨年の167.8万円よりも4.1万円のダウン。一昨年は2004年の調査以降、過去最低の平均単価162.0万円であったが、それに近づく過去2番目に低い金額になった。

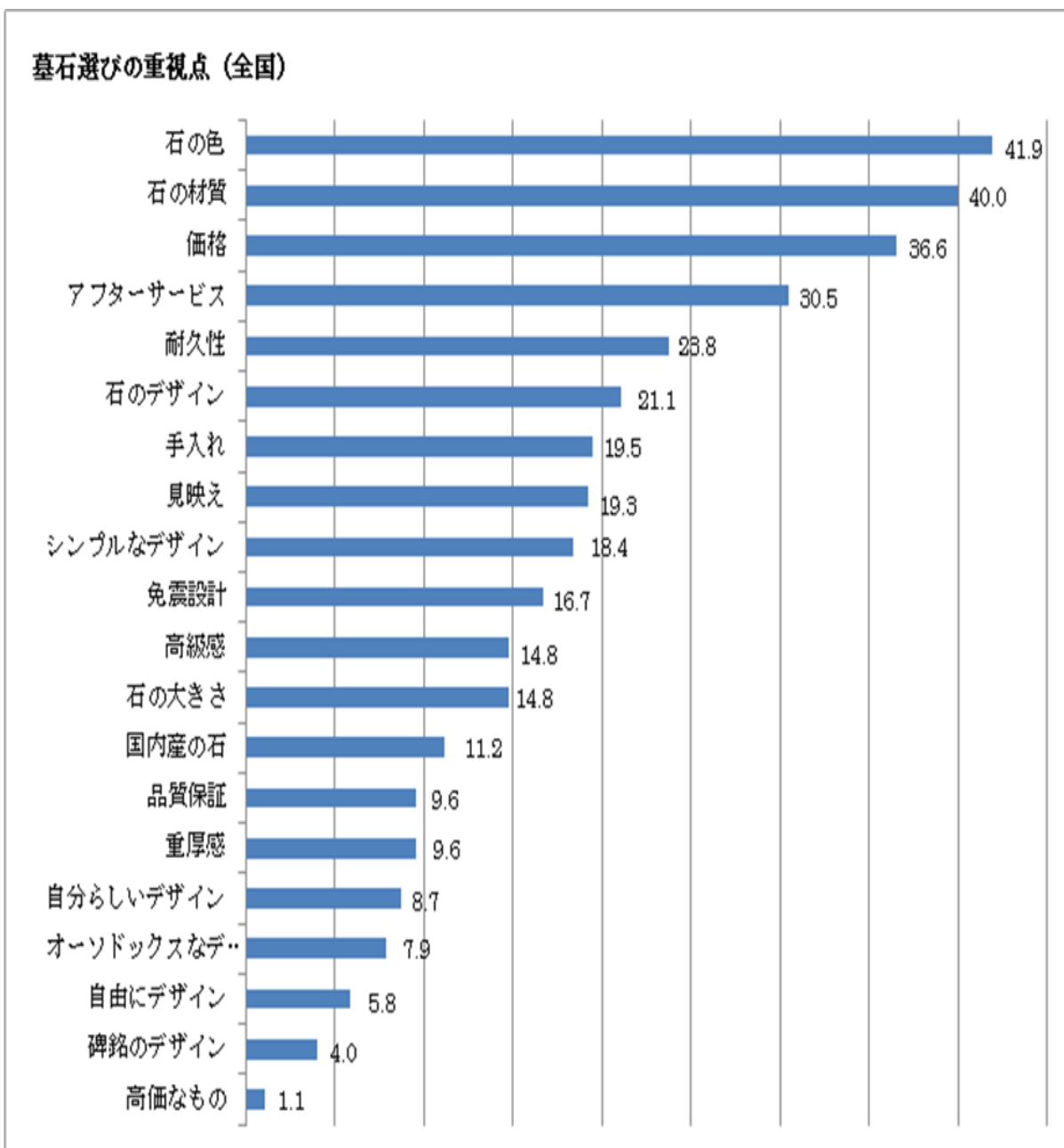
墓石タイプ別では、伝統的な和型の平均単価が最も高く172.4万円、次いでデザインのお墓で171.5万円、シンプルな洋型が最も安く152.4万円であった。シンプルな洋型は昨年よりも8.53万円安い結果。



地域別にみても、昨年よりも価格がアップしたのは北海道、北陸、近畿、中国、九州。九州は全国平均を大きく上回り平均価格は223.6万円と突出している。また、最も安いのは中部の148.5万円である。最も高い九州と最も安い中部では75.1万円の開きがある。

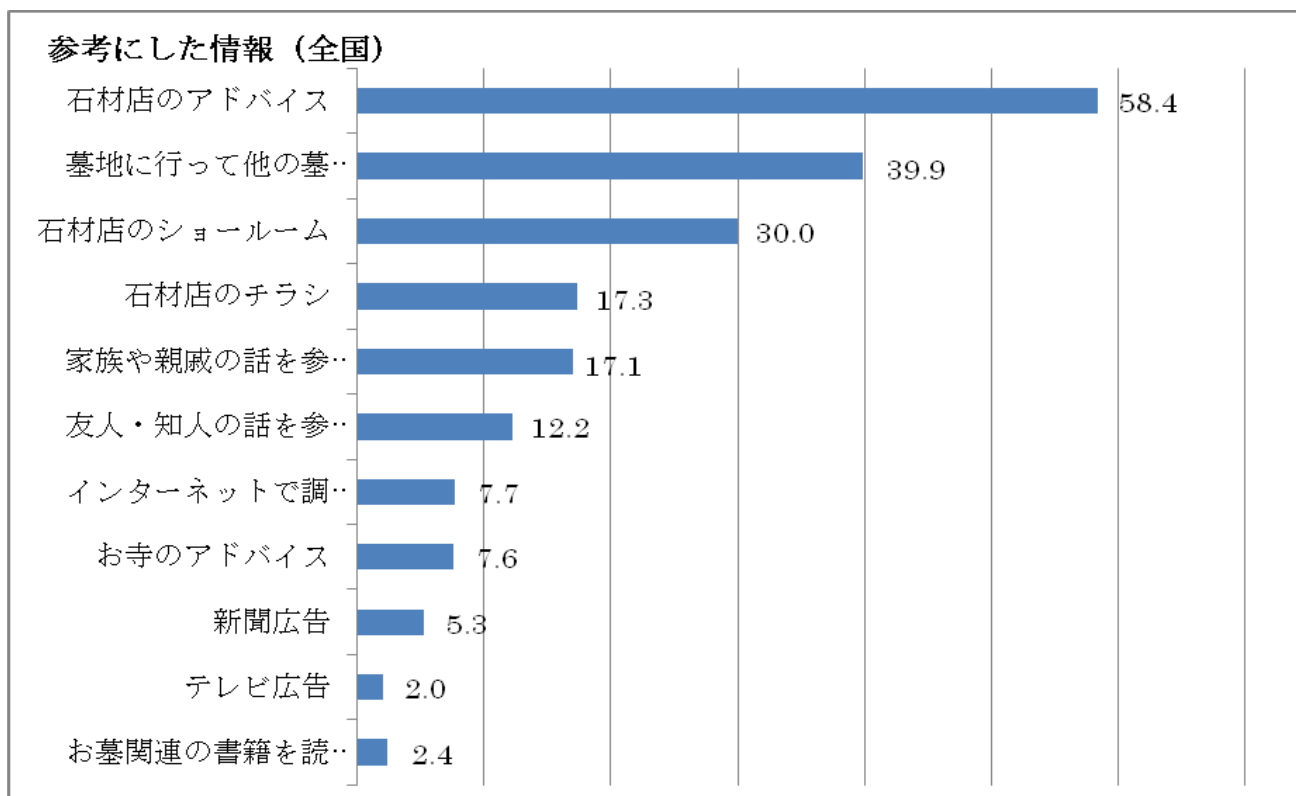
**墓石選びで重視点①石の色、②石の材質、③価格の手頃さ
続いて④アフターサービス、⑤耐久性、⑥石のデザイン**

墓石選びで重視したことはという複数回答に対して、昨年と同様①石の色、②石の材質、③価格の手頃さが三大ポイントとの回答が寄せられた。石の色は従来ならば黒、白、グレイであったが、最近では洋型、デザイン墓などに赤、ピンク、緑といったカラフルな石が選ばれるようになっている。それだけに石の色や材質にこだわるという回答のようだ。また4番目に「アフターサービス」、5番目には「耐久性」、6番目に「石のデザイン」がランクされた。



**お墓購入で参考にした情報トップは「石材店のアドバイス」が約6割
次いで「墓地に行って他のお墓を参考にした」、「石材店のショールーム」**

「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」が挙げられた。一生に一度あるかないかのお墓づくりでは、やはり実績のある専門業者、石材店が最も頼りになる情報源となっている。次いで「墓地に行って他の墓石を参考にした」が挙げられた。わが目で見学、確認し、お墓づくりのイメージを膨らませているようだ。3番目に「石材店のショールーム」が挙げられ、トップの「石材店のアドバイス」と合わせて、石材店の役割が大きいことを窺わせる結果となっている。



調査対象者のプロフィール

